



テニスと勉強の両立をモットーに指導を続けてきた村上照五郎さん

▽旭日双光章

村上照五郎さん(74)

スポーツ振興(県ソフ

トテニス連盟会長)

盛岡市本町通1の11の

33

戦後の何もない時代、  
テニスラケット一つでひ  
たすら白球を追い続け  
た。大学時代は東北6県  
大学対抗戦で団体優勝の  
メンバーとして活躍。

母校の恩師に誘われ  
岩手中・高校に数学教師  
として54年から42年間  
勤務。県高総体個人戦優  
勝、インターハイ11回出  
場へと導いた。「テニス

## 白球追い子弟育て

ができるだけでは駄目」  
と勉強との両立がモット  
1。  
65年から84年まで国体  
監督を11回務めた。3位  
入賞を決めた71年の和歌  
山国体が印象深い。国体  
出場メンバーや教え子ら  
と現在でも集まりテニス  
談議に花を咲かせる。

93年から県ソフトテニ  
ス連盟会長、03年から東  
北ソフトテニス連盟会長  
も務める。99年の岩手イ  
ンターハイでは、男子団  
体初優勝の黒沢尻北高に  
賞状を手渡した。「本当  
にうれしかった」と振り  
返る。盛岡市出身。